

# ウォールアート日本一を目指し 多<sup>タ</sup>久<sup>キウ</sup>のまちをアートで彩<sup>イロ</sup>る

シャッターや壁に描かれた  
色鮮やかな絵に、道行く人が  
足を止め、眺める様子を見か  
ける商店街。

アートの力で、まちなかに  
明るさと賑わいをつくりだそ  
うと始まった「多<sup>タ</sup>久<sup>キウ</sup>市ウォ  
ールアートプロジェクト」で、ま  
ちに新たな人の流れが生み出  
されています。今回は、アート  
で多<sup>タ</sup>久<sup>キウ</sup>を盛り上げようと取  
り組んでいるこのプロジェク  
トをご紹介します。

アートで多<sup>タ</sup>久<sup>キウ</sup>のまちに賑わい  
をつくり出そうと3年前から始  
まった「多<sup>タ</sup>久<sup>キウ</sup>市ウォールアート  
プロジェクト」。

以前から商店街活性化のため  
に、多<sup>タ</sup>久<sup>キウ</sup>市まちづくり協議会が中  
心となってフリーマーケットや  
青空市などを開催していました  
が、何か継続性のある取り組みが  
できないかと検討していた時に、  
アーティストの富永ボンドさん  
がシャッターや壁に絵を描く



取材協力

## 富永ボンドさん

3年前に福岡県から多<sup>タ</sup>久<sup>キウ</sup>市へ移住。  
木工用ボンドを使って描く新進気鋭  
のアーティスト。



“ウォールアート”を提案しまし  
た。

まちづくり協議会とエノグ  
アート実行委員会が協力して、こ  
のプロジェクトを進めました。

富永さんは「商店街のシャッ  
ターをキャンパスに、いろんな  
アーティストに作品を描いても  
らえば、多<sup>タ</sup>久<sup>キウ</sup>を“日本一のシャッ  
ターアートのまち”にすることが  
できるんじゃないかと考えまし  
た。著名な作家さんに描いてもら